

(様式2)

平成 29 年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1570104032		
法人名	株式会社 はあとふるあたご		
事業所名	はあとふるあたごグループホーム新津		
所在地	新潟市秋葉区荻野町2-26		
自己評価作成日	平成29年10月18日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kai.gokensaku.nhl.w.go.jp/15/i/ndex.php?act=on_kouhyou_detail_2017_022_kani=true&Ji_gyosyoCd=1570104032-00&PrEfCd=15&VerSi onCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人新潟県介護福祉士会		
所在地	新潟県新潟市中央区上所2-2-2		
訪問調査日	平成29年11月21日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

認知症ケアを推進する上でできるだけ過介助にならないように、ご利用者のできること・できないことを把握して取り組む様になっている。
フロアの壁に写真を貼り、日々どのように生活しているかを垣間見れる様にしている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

○身体拘束をしない取り組み

身体拘束については職員1人ひとりの意識が大切である。法人職員全体が、常に考え、理解しながら、年一回法人の中に研修を行っている。事業所からも委員会職員が研修に参加しており、研修に参加した職員は、必ず、事業所にて伝達研修を実施している。職員全員で意識を共有するよう努めている。「広義」の解釈についても、事例を用いてわかりやすく伝える工夫を行っている。また、事業所は施設については、「安全」と「自由」を理解した上で、夜間以外は施設しない取り組みを実践している。

○楽しく食事を楽しむ工夫がなされている

食事は人間の一番大切な欲求の一つであり楽しみでもある。事業所は、その食事の時間をとても大事にしている様子が窺える。利用者の希望を反映させながら、職員が献立を立てたり、利用者と一緒に家庭菜園で野菜を栽培し、収穫したものを調理するなど、食事を楽しみとなるよう支援に努めている。また、利用者の食べる力に応じた食事形態になるように工夫し、提供されている。盛り付けや配膳や下膳、テーブル拭き、食器洗い等、利用者の状態や意欲に合わせて一緒に会話しながら調理し、いつも食事が楽しくなるよう実践されている。

○個別の入浴を支援されている

事業所では、利用者のできる限り希望に応じて、清潔保持を考えて最低週2~3回は入浴するように対応している。また、できるだけ同性介助が行われており、職員との会話やゆったりゆっくりと心地よい時間になるように努めている。入浴を拒否される方に対しても気持ちよく入浴してもらえるよう、時間をおいたり、職員を変えたり工夫が実践されている。